



支援制度やその他の事例は
ホームページをご確認ください



株式会社丸合



事例 PPA方式で太陽光発電を導入!
環境配慮とコスト削減の両立を目指す!

- 所在地: 米子市東福原2丁目19番48号
- 代表取締役社長: 梅林裕暁
- 事業概要: 鳥取県中部から島根県東部にかけてスーパーマーケット23店舗を展開



Q. 再エネ設備導入の背景は。

A. 2016年に策定した「環境自主行動計画」に基づき、省エネ型の設備や機器への移行をはじめ、エコトレの促進、リサイクルボックスの設置・回収などの取り組みを推進してきました。直面する物価高や電気代の高騰を受け、環境配慮とコスト削減の両立が期待できる施策を検討した結果、太陽光発電の導入に踏み切ることとしました。

Q. 検討の結果、PPA※を選ばれた理由は何ですか。

A. 自社で設備を保有した場合、メンテナンスや将来的な廃棄物処理の問題が大きな負担となります。加えて、太陽光発電の先行きに不透明さを感じ、潜在的なリスクへの懸念もありました。その点、PPAであれば初期費用や保守コストを気にすることなく、低リスクで本業に集中できると判断しました。

※PPA…Power Purchase Agreementの略で、直訳すると電力購入契約。
施設所有者が提供する敷地や屋根に発電事業者が太陽光発電設備等を設置し、発電された電力を施設所有者が購入する仕組み。

Q. 導入成果をどう評価されていますか。

A. 稼働して間もないものの、「五千石店」「境港ターミナル店」「弓ヶ浜店」「みのかや店」の4店舗の発電量は概ね計画どおりに推移しており、電気料金にも効果が現れ始めています。スーパーマーケットは、冷蔵・冷凍設備が常時稼働し、昼間は空調や照明の使用も重なるため、太陽光発電と相性の良い業態です。20年の契約期間を通じて、最大需要電力(デマンド)抑制による中長期的な電気料金の削減にも期待しています。



▲五千石店、境港ターミナル店、弓ヶ浜店、みのかや店に設置された太陽光発電パネル

Q. 今後の取り組みについて教えてください。

A. 2030年には使用する電力の30%を非化石電源へ転換する目標のもと、コスト削減とともに、環境保全への取り組みを発信し、従業員をはじめお客さまを含めた社会全体の環境意識を高めていきたいです。



▲管理本部店舗開発部の田村部長

PPA事業の概要

稼働時期	店舗名	太陽光パネル出力	年間想定CO ₂ 削減量	各店舗の年間使用電力に対する割合
2025年3月	五千石	256.32kW	153t-CO ₂	26%
同上	境港ターミナル	267.00kW	156t-CO ₂	24%
同上	弓ヶ浜	186.01kW	114t-CO ₂	18%
2025年9月	みのかや	252.00kW	142t-CO ₂	25%

2030年電力構成目標

